

傘寿を迎えて

傘寿からの我が人生

鈴木 彦之

(昭和31年機械科卒)



今年、神奈川県大和市では「70歳代を高齢者と言わない都市」と宣言した。いつまでもいきいきと活躍して頂きたいというのが、狙いだそうだ。

その考え方にならうと、80歳は確実に本当の「高齢者」であり日本人の平均寿命に到達したことになる。それでも世の中100歳時代になるとこれからまだまだ先があるようだ。この年金時代に65歳以上の人が約3割なのでそのうち健康年齢で過ごせる老人がボーとして暮らしては勿体ない。少子化で若者も少なく、労働者の人手不足で困っている現状では大和市のように65～70歳代はこれまでの固定観念を変えて高齢者扱いにしない。たとえば熟練技能者はそのまま企業で再雇用することや企業から離職した人は個々の意欲や能力に応じて地域社会を活性化するなどの働きができるような環境づくりが必要ではないかと思う。

年金受給者が再就職した場合、給料分を年金から差し引く制度では年金受給者の働く意欲が湧かないのは当然である。また、年金から介護保険料が引かれ、介護する人、介護される人については、国民万人に関わる消費税で補うように変え、元気な老人のパワーを役立てる方法が得策と考える。寝たきり老人にならないように、健康年齢を延ばして介護の人口を減少させることが重要である。定年後が第2の人生ならば80歳からは第3の人生ではないかと思う。

かつて私が30歳代の頃、ロケット博士の糸川英夫氏の講演会に出席する機会があって、「人生では10年毎に何か新しい事にチャレンジし、異なったものを経験することも生き方の1つではないか」

と提言があり、成る程と思った。

その後、本人はロケットから離れチェロの演奏家を経験しその何年か後、ガラリーと変身してバレエに転向し「白鳥の湖」を舞台で披露した。言葉通り「やればできる」ことの現実を思い知らされた。

私はと言えば会社勤めするとき、そのころ何か身につけることで将来役に立つことはないかと地域の自治会、県人会、趣味の会、同窓会など様々な団体に加入し、自ら役を買って出るよう心がけ貴重な体験を得ることができた。

趣味では小学生の頃、夏になると隣の家から聞こえてくる妙なる調べが秋田民謡の尺八の音だったので、それが心地よく耳の奥に残っていた。ある時、会社帰りにふと立ち寄った楽器店で尺八を見つけて入手してから45年、当時は尺八の情報は少なく通信教育を受けてはみたが満足できず、横浜から東京へ引越したのを機会に師匠に弟子入りしてから35年。これまで続けてこられたのも「目と耳と指」を使いボケ防止には最適ではないかと思いながら、趣味としては1番長く続いている。



2017年度総会で尺八伴奏(右)

その間、民謡や詩吟で伴奏をするには、歌う人の声にあわせて長さの違う尺八が必要なのに気づき、自分で作ってみようと手づくり教室へ2年間通い、尺八同好会で練習できるように真竹の尺八30本を目標にチャレンジしたが、まだもう少し時間がかかりそうだ。

また、尺八を始めようとしている初心者には安価な塩ビ管で練習ができるようにと、この16年間で600本を数えるまでになり、まだ作り続けている。郷里の小学校と中学校の母校にも2度足を運び、手作りの塩ビ尺八を使って出前体験授業を行い、普及の種を蒔いたのでうち何名かが趣味にできればと将来が楽しみである。

80歳過ぎてこれから何ができるか模索中ではあるが、音に関してはこだわりがあって、鳥やセミの鳴き声のような「へんてこ」な楽器を作ってみようと思っている。

終わりに自分自身の健康状態を身体の部位でチェックしてみると頭は半ボケ、髪はまだある。目は眼鏡いらず、右耳は聞こえず、歯は27本、盲腸、前立腺、大腸等、悪い部分を切除したので、不自由を感じない。まだまだいけそうである。

健康上、日常気をつけているのは朝のテレビ体操、夕方の散歩、晩酌にはビールをコップ1杯だけ。食事は朝ご飯、昼はパン、夜はおかずのみ。常用の薬なし、今のところ健康年齢保持中である。

住居は結婚時6畳1間の間借りから始まり、社宅住まい等マンションではリフォームは考えず、新しい住居を探して神奈川、東京を拠点に50年間に11回の引越しを繰り返えし、今やっと高齢者用の住宅が「終の棲家」として落ち着きそうである。

今年80歳の誕生日を機会にガラ系の携帯電話を卒業し、遅まきながらスマホの仲間入りをしたがチャレンジ精神のままで、いつまで健康寿命でいられるかは未知数である。



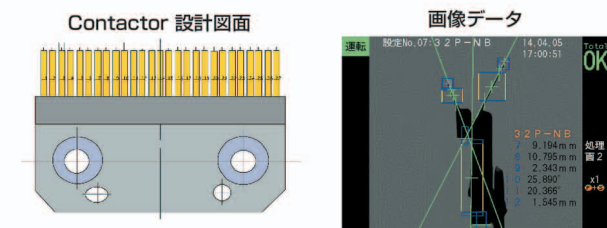
株式会社 オー・ティ・ティ・エス

OTTS CO.,LTD

IC等の測定端子 Contactor の製造、販売



- 製品の特徴**
- ① 設計から納入まで Turn-Key Service
 - ② 長寿命 Long Life /14Pin で200K回の実績
 - ③ 高品質 全て Made in Japan の材料と Process



代表取締役 田中 誠悦 (昭和32年工業化学科卒)

〒193-0834 東京都八王子市東浅川町211-6
TEL : 042-666-1927 FAX : 042-664-7909